

## 大佐町との交流

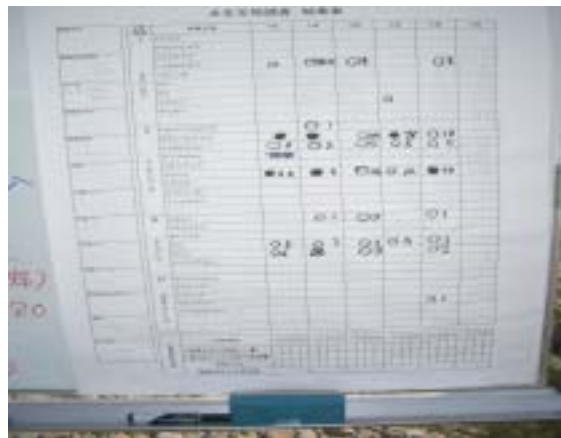


主催 倉敷市、大佐町  
後援 倉敷市教育委員会、  
国土交通省岡山河川事務所  
協力 環境省、(社)瀬戸内海環境  
保全協会

7月29日(木)高梁川右岸水江地先(水江の渡し付近)において、大佐町内及び倉敷市内の小学校とその保護者54名と講師外関係者約10名により、親子水辺教室が開催されました。

この「親子水辺教室」の目的は、私たちを取りまく自然は、暮らしの移り変わりと共に、自然との関わり方も大きく変わってきており、かつて、子供達が魚を捕ったり、ホタルを追いかけていた身近な川が、その姿を変え、それに伴って生活とのつながりが薄れてきていることから、暮らしにかけがえのない自然環境で生活に深く関わりをもつ高梁川の源流に位置する大佐町の子供達を招き、倉敷市内の子供達と一緒に高梁川に生息する生き物の観察会を開催し、地域の交流・親子の交流を深めるとともに、身近な水辺への関心を高めるため、開催されたものです。





### 生物観察結果

7月29日(木) 14:00・気温 35.8      ・水温 30.0 (14:30)

・流速 1m/S      ・底質：丸石      ・水の濁り やや濁る

水質階級は (少しきたない水) で、オオシマトビケラ、ヒラタドROMシ、カワニナ等を中心に出現していたようです。講師<sup>いわく</sup>曰く、オオシマトビケラが多かったので、今年は大量に発生するかも?とのこと。

大佐町の子供達にとっては大変暑い1日であったと思いますが、倉敷市の子供達と一緒に、ゲーム、観察会等を通じて交流を深められたことでしょう。

